

いきいき仲間たち

夢に向かい筆を走らせる

第74回全国書道コンクール
一字書の部 一字大賞 受賞

かわばた
河端

よしあき
良明さん



「余」という一字の漢字。形が好きでこの字を選び、「自分の好きな一字を自分が考えたおりに筆を走らせ表現できるのが一字書の楽しさ」そう話してくれたのは、全日本書芸文化院が主催する第74回全国書道コンクール一字書の部で数多くの応募作品の中から一字大賞を受賞した河端良明さん。書道を本格的に始めたのは教員退職後、大学時代の知人に偶然再会し誘われたのがきっかけ。知人の話をよく聞くと、書道の先生である故大倉谷山先生（おおくらやま）の奥さまと教員時代に一緒に働いていたこと、河端さんが幼稚園の園長を務めていた時に実は大倉先生のお孫さんが通園していたことなどが分かり、その偶然的な重なりには何かの「縁」を感じたそうです。

そして、河端さんが本格的に書道を始めてから約9年。現在では一般の最高段位とされる師範となり、小学校での書き初め指導や小・中高校書き初め展覧会で



の審査員など幅広く活動している他、今回の「全国書道コンクール」や同じく全日本書芸文化院が主催する「全書芸展」などに作品を多数応募しています。受賞した作品も多く、過去には全書芸展で一字書とは違う書で文部科学大臣賞を受賞した経歴も。今回の一字書の部では、数ある書体のうち「楷書」と「草書」で応募しており、楷書の作品で見事受賞。「文字の強弱、スピード、構想を書く前に考える。全体的なバランスを意識している」と一字書を書く上で大切にしていることを教えてくれました。

「書道の世界はとても奥深く魅力がある」。そう話す河端さんは、書道以外にも学童支援員として働いておりバドミントンなどの趣味もあります。「いきいき」と生きていくには自分の好きなことをやる。ストレスをためないこと」と普段から心掛けていることを教えてくれました。そして最後に「書道を始めた孫といつか一緒に表彰台に上がりたい。その「夢」に向かい自分も受賞できる作品を書き続けたい」と話す河端さんはとても優しいまなざしをしていました。

防災・防犯に関する情報をメールで配信

**もばら安全・安心メールを
ご利用ください**



右のQRコードを読み取るか、下記メールアドレスに空メールを送信後、返信されたメールに記載されている手順に従って登録してください。

touroku.mobara-city@raidan2.ktaiwork.jp



※高齢者等を対象に、防災情報を自宅の電話・FAXに配信するサービスも行っています。

問合せ 防災対策課(4階) ☎(36)7580 FAX (20)1602

今月の日曜開庁	4月27日⑧ 8時30分～17時15分
市民課(2階)	☎(20)1502
市民税課(2階)	☎(20)1577
収税課(2階)	☎(20)1578
本納支所	☎(34)2111
証明書等交付時間を延長	毎週水曜日 19時まで
市民課(2階)	☎(20)1502

※一部取り扱えない業務もありますので、詳しくはお問い合わせください。

日曜・休日当番医	診療時間 9時～17時	
	《内科系》	《外科系》
4月6日⑧	睦沢診療所 ☎(44)2236	穴倉病院 ☎(24)2171
4月13日⑧	聖光会病院 ☎(35)5151	菅原病院 ☎(25)1171

※都合により、変更する場合があります。救急患者が優先となります。消防本部☎(24)0119、FAX (25)8448へお問い合わせください。

防災行政無線が再確認できます

しみんは 1 1 9

☎0120(438)119
(通話無料)

【人口と世帯数】 令和7年3月1日現在

- 総人口 85,678人 ●世帯数 42,135世帯
- 男 42,387人 ●女 43,291人

【2月中の動き】

- 転入 230人 ●転出 198人 ●出生 33人 ●死亡 118人